

兵庫県立尼崎総合医療センター

ほりえ あゆみ
堀江亜由美

兵庫県立尼崎総合医療センター（AGMC）は、兵庫県立尼崎病院と兵庫県立塚口病院を統合・再編し、現在の地に新築・移転して2015年7月1日に開院いたしました。病床数730床、診療科46科で、「高度・良質な医療による社会貢献」を病院の基本理念とし、阪神地域における高度急性期・高度専門・先進 & 政策医療を担うマグネットホスピタルとしてフル稼働しています。

部署名が「メディカルライブラリー」となり、オンライン資料をメインに構成したことによって室内の利用者用端末が14台に増えました。ネット環境も変わり、無線LANも構築されたため、病院内であれば全部署のLAN用端末から場所を問わずどこでも電子カルテとインターネットにアクセス可能で、利用者の利便性は高まったようです。

当院の様子については、AGMC広報紙『あまが咲だより』でご紹介しています。当院サイトのトップページのリンクより、どうぞご覧ください（メディカルライブラリーも「第29号」で取り上げられました）。



北から

会 員 紹 介

南から

大阪警察病院

みやもと けいこ
宮本 恵子

大阪警察病院は1937年9月に開設され、2017年に創立80周年を迎えました。地域医療の中核的な病院として、また大阪府警の職域的な病院として、開設以来「愛・熱・和」の精神で最先端医療、高機能医療を提供しております。

2017年4月、図書室に配属となり、図書館業務って？ひとりのできるの？と不安だらけのスタートを切りましたが、多くの方に相談に乗っていただき、日々試行錯誤しながらではありますが、業務を行っております。会員の皆さまには文献複写などでお世話になり、いつもありがとうございます。

当院図書室でも、電子化が進み、いつでもどこでも文献が読める環境が整い始めています。現在の病院に適した図書室になるよう、職員同士のコミュニケーションを大切に、利用者がわかりやすく、使いやすい環境作りに取り組むたいと思っています。また、図書室担当者としてのスキルアップにも務めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

